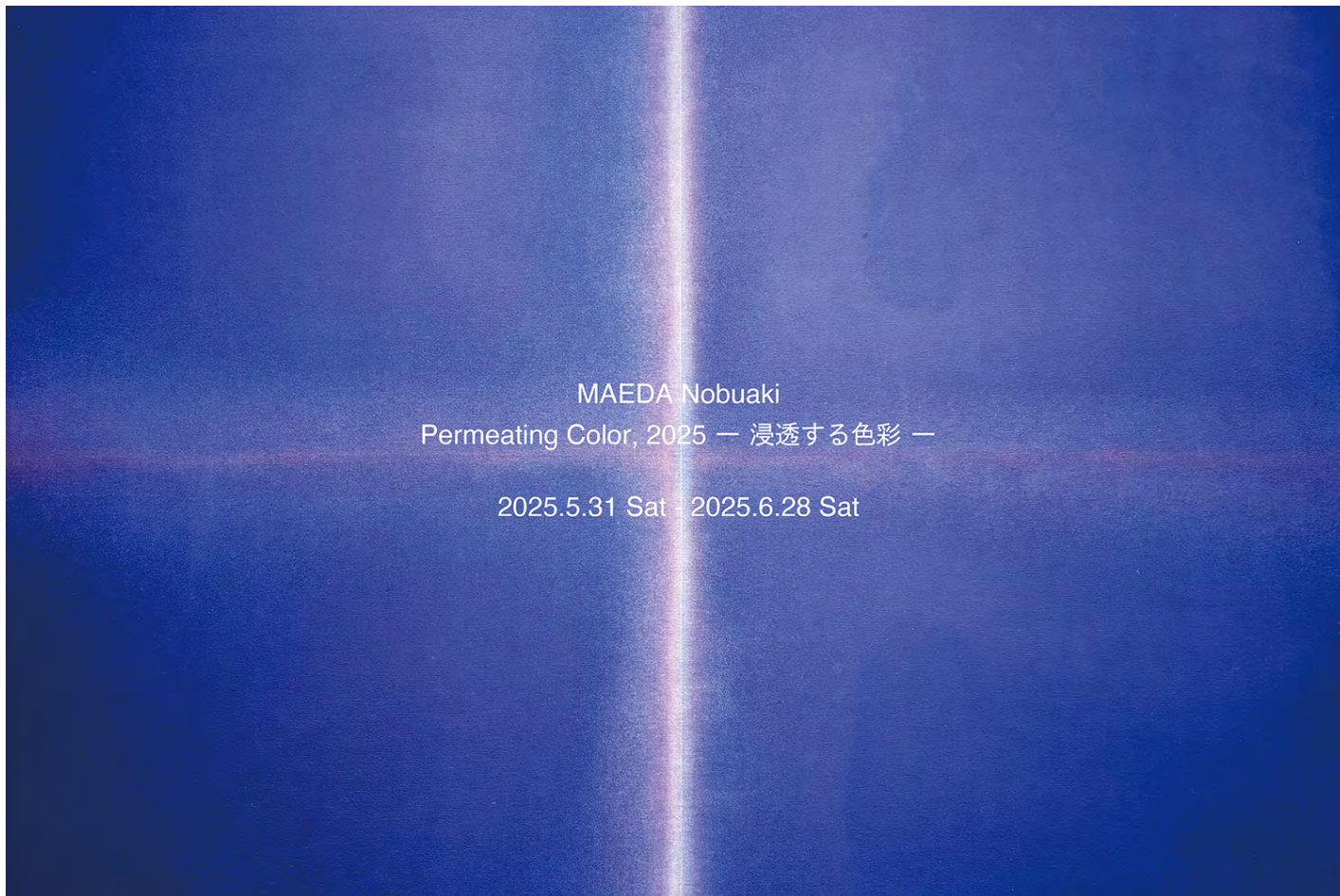




MAEDA Nobuaki
Permeating Color, 2025 — 浸透する色彩 —

2025.5.31 Sat - 2025.6.28 Sat

このたび、TEZUKAYAMA GALLERY – VIEWING ROOMでは、前田信明による個展「浸透する色彩 — Permeating Color, 2025」を開催いたします。

前田信明（1949年熊本県生まれ）は、現在も熊本を拠点に活動続ける現代美術作家です。1970年代、アメリカのミニマル・アートの巨匠ドナルド・ジャッド（1928–1994）と直接出会い、さらに成田克彦（1944–1992）や桑山忠明（1932–2023）といった国内外の重要作家たちとの交流を通じて、当時の「もの派」やミニマリズムの潮流を体感しました。それらの影響を受けつつも、独自の視点から純粹抽象のあり方を探求し続け、独創的な絵画空間を構築してきました。

1970年、東京都美術館で開催された第10回東京ビエンナーレ「人間と物質展」では、田中信太郎（1940–2019）のアシスタントとして参加。このとき、ヤニス・クネリス（1936–2017）、カール・アンドレ（1935–2024）、リチャード・セラ（1938–2024）といった海外作家たちの制作現場を目の当たりにし、国際的な現代美術の潮流に触れる貴重な経験を得ました。

特に、同展で「SUMI」を発表し注目を集めていた成田克彦の作品に強い衝撃を受けたことは、その後の表現活動に大きな影響を与えました。以降、両者の交流は長きにわたり続きます。また、1958年にニューヨークへ拠点を移し、ミニマリズムの中心的存在であった桑山忠明との出会いも、前田にとって重要な出来事でした。

1970年代以降、ゼロックス・アートやフロッターージュといった「時間性」を主題とした作品に取り組んだ前田は、やがて具象性を排除したミニマルな画面構成へと移行します。アクリル絵具を極限まで希釈し、キャンパスに水を大量にかけるなど、独自の描画工程を何層にも繰り返し、深淵な色彩と純粹抽象による絵画を確立していきます。

画面上に浮かび上がる水平と垂直のラインは、重力が生む垂直性、そして堆積によって形成される大地の水平性を想起させます。それらが交錯することで生まれる空間は、鑑賞者に広がりや深みを感じさせる静謐な世界へと導きます。

本展は、TEZUKAYAMA GALLERYにおいて前田信明にとって初の個展となります。ぜひこの機会にご高覧賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

前田信明

1949 熊本市生まれ。中学・高校の美術教諭を経て、九州産業大学造形短期大学部特任教授を務めた。自らが立つ大地によって、重力という垂直性、地平・水平線という世界が続いていく感覚。その広がり空間による純粹抽象を一貫して追究。熊本市在住。

1970 第10回東京ビエンナーレ、東京都美術館「人間と物質」にて田中信太郎のアシスタントとして参加、成田克彦をはじめもの派、前衛作家と出会う。ゼロックスアート開始、公開制作などを行う。
1982 ニューヨーク、ボストンにて滞在制作。

GALLERY SHILLA（大邱・ソウル / 韓国）の所属作家として、主にアジアを中心として、現在まで多くの個展、グループ展、アートフェアに多数参加。

前田信明

1949 熊本県生まれ、在住。
中学・高校の美術教諭を経て、九州産業大学造形短期大学部特任教授を務めた。

主な個展

- 2025 Permeating Color, 2025 ―浸透する色彩― Contemporary HEIS / 東京
- 2024 GALLERY SHILLA-SEOUL / ソウル・韓国
-HARAJUKU PROJECT 2024- GALLERY KTO / 東京
- 2023 -BLUE'S RECENT WORKS- Contemporary HEIS / 東京
- 2022 ART SPACE はね / 熊本
GALLERY SHILLA-SEOUL / ソウル・韓国
- 2016 GALLERY SHILLA / 大邱・韓国
- 2014 the bridge / 大分
- 2013 ギャラリー尾形 / 福岡
KID AILACK ART HALL / 東京
- 2012 宇久画廊 / 福岡
- 2008 調布画廊 / 東京
- 2000 久我記念美術館 / 福岡
- 1995 熊本県立美術館 / 熊本 同,1998, 2003
- 1984 銀座絵画館 / 東京
- 1975 サトウ画廊 / 東京 *シェイプト・カンヴァスの純粋抽象絵画で初個展。

主なグループ展, アートフェア

- 2024 カラーズ ― 色の秘密にせまる 印象派から現代アートへ (ポーラ美術館 / 箱根)
祈りのかたち ― 小川佳夫, 平野泰子, 前田信明, 加藤舞 キュレーター大島徹也 企画 (MARUEIDO JAPAN 古美術長野 / 東京)
- 2023 美の鼓動・九州 / たいせつなあいまいさ (九州産業大学美術館 / 福岡)
NEXT 30 : PART2 “International” (GALLERY SHILLA-SEOUL / ソウル・韓国)
- 2022 ―もの派からミニマルへ― 成田克彦+前田信明 (Contemporary HEIS / 東京)
Ideas and Minimal Art (GALLERY SHILLA / 大邱・韓国)
IMPRESSION OF MONOCHROME 桑山忠明+前田信明 (Contemporary HEIS / 東京)
アートフェア東京2022 桑山忠明+前田信明 (東京国際フォーラム / 東京)
- 2021 CAMKコレクション展 -不思議な部屋- 倉重光則+前田信明+星加民雄 (熊本市現代美術館 / 熊本)
Beyond the Canvas 桑山忠明+鈴木 隆+前田信明 (GALLERY SHILLA / 大邱・韓国)
コミッションワークとしてWALL ARTを制作 (府内町 / 大分市)
- 2020 近藤克+前田信明 (ギャラリー尾形 / 福岡)
- 2019 前田信明+岸本吉弘 新作展 (ギャラリー尾形 / 福岡)
2019 Summer/Autumn6・Six Crash (熊本県立美術館分館、熊川宿若狭美術館 / 福井) ...and others

主なグループ展, アートフェア

熊本市現代美術館 / 大分市美術館 / Fuji Xerox Art コレクション / 大分市パブリックアート / ウォールペインティング (府内町)
コミッションワーク / ザ・リッツ・カールトン福岡(福岡市) / PARKSEOBO FOUNDATION(ソウル / 韓国) / 国立慶北大学校美術館
(大邱/ 韓国)



IMPRESSION OF MONOCHROME 桑山忠明+前田信明 (2022)
Venue: Contemporary HEIS / 撮影: 古賀勇人



BRUE'S RECENT WORKS (2023)
Venue: Contemporary HEIS / Courtesy of Contemporary HEIS



(L to R)
RD24-0909 (2024)
acrylic and pigment on canvas / H435 × W405 × D40 mm

UBW25-0211 (2024)
acrylic and pigment on canvas / H310 × W280 × D35 mm

UBR25-0214 (2025)
acrylic and pigment on canvas / H1467 × W1352 × D75 mm

前田信明 | Nobuaki Maeda
Permeating Color, 2025 — 浸透する色彩 —

2025.5.31 Sat - 6.28 Sat

Cooperation | Contemporary HEIS, Tokyo

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday
お問い合わせ: info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)

TEZUKAYAMA GALLERY

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F
Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN
t: +81 6 6534 3993 | e: info@tezukayama-g.com

